

光の子だより

令和6年1月31日
千葉市立作新小学校
校長 遊間 京子

学校教育目標:一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたかく たくましい」子どもの育成

☆期待する子ども像☆
自ら学び、よく考える「かしこい」子ども
思いやりのある心豊かな「あたたかい」子ども
丈夫な心と体を持つ「たくましい」子ども

子どもは、地域の自然や文化、そして愛情で育ちます。友だちとけんかをして仲直りをすることや競い合う中で、友だちとの関わり方を学びます。思い通りにならないことがあってこそ、我慢する心も育ちます。こうした子どもの育ちには、ご家庭の深い愛情の中で安心して暮らせることや、家族の絆が大きく影響します。子どもたちが社会に出る時に、胸を張って故郷である作新を誇れますように。

「球技大会」

6年生は12月よりバスケットボールとサッカーの練習を行い、男女で種目を分けずに参加したい種目に分かれて、練習試合も行いました。

壮行会では頼もしい勇姿が見られ、全校からエールを贈りました。誓いの言葉でIさんとGさんが力強く立派な決意表明をしました。

大会は1月23日(火)に長作小学校で実施され、キャプテンのIさんとNさんがチームをまとめて、練習やゲームでも大活躍でした。声を絶やすことなく挑んだ試合の結果、女子は優勝、男子は準優勝をすることができました。



「5年生の校外学習」



1月30日(火)に5年生が水の科学館・そなエリア東京・科学技術館で、水の大切さや防災対策、さらに日本の科学技術について、自分の生活に役立つ

新たな発見をしました。特に、そなエリア東京では、災害に直面後72時間をどのように生き抜くのかを体感しました。国の緊急災害対策本部となる場にも直面して、人々の安全や命を守るには、備えが重要だと学びました。

「地域情報交換会」

作新小には子どもたちの安全を守っている強い味方がたくさんいます。セーフティウォッチャーさんには、毎日交差点や危険な場所に立ってもらい、その見守りのおかげで、安心して毎日の登下校ができています。さらに、千葉北警察署の交通安全課が毎月第3金曜日に地域パトロールを実施しています。作新小にも移動交番が来ています。その活動にはPTAや地域の方々も共に参加しています。その熱心な活動が評価されて、1月31日(水)に北署より作新小PTAが感謝状をいただきましたので、ご紹介いたします。

次回は2月16日(金)に実施されますので、ぜひ、保護者や地域の皆さまの参加をお待ちしています。



「のびのび」

大人はみなわが子に、「のびのび育ってほしい。」と願っていることでしょうか。では、のびのび育っている子とは具体的にどんな子でしょうか。さまざまな場面で楽しく自信をもって活動している姿がイメージできます。そういう行動はその子だけががんばっているものではなく、子どもの行動に対して周囲がどう反応するかがとても大事です。行動した後に「認める」声かけをすること。それだけで子どもが変わっていきます。日頃から、ご家庭の愛情による安定感や安心感をもたせることで、子どもは、愛されているという安心感からさらなる自信や意欲をもつてのびのび育っていくと思います。